

私のすすめるこの1冊

細川 友秀 (本学名誉教授)

『その犬の名を誰も知らない』

嘉悦 洋 (著)、北村 泰一 (監修)

1959年1月、南極観測昭和基地発信のタロとジロ2頭のカラフト犬の奇跡的生存のニュースに世界中が驚き、日本国内は歓喜に沸き返った。この本はその奇跡の生存の謎に迫る貴重な記録である。

カラフト犬は、1957年から1958年の第一次南極観測越冬隊で犬ゾリを牽いて目覚ましく活躍し、犬ゾリが雪上車に勝るとも劣らない必須の装備であると実証し、引続き第二次越冬隊でも犬ゾリを牽引する予定だった。そして、第二次越冬隊への引継ぎ準備の過程では、カラフト犬15頭がすべて鎖に厳重に繋がれて第二次隊に引き渡される状態にまでなっていた。しかし、引継ぎ最中の1958年2月は悪天候により、南極観測船「宗谷」が海氷に閉じ込められ、米国の砕氷船の救助を受けたものの、急いで両船とも外海に脱出せざるを得ない状況に追い込まれ、急速第二次越冬の中止が決定された。この結果、カラフト犬たちは鎖に繋がれて無人の昭和基地に置き去りにされたのである。当時誰もが、犬たちが極寒の南極の冬を生き延びるとは思いもしなかった。

オーロラ研究が主課題の地球物理研究者で犬ゾリ担当だった第一次越冬隊員の北村泰一氏は、厳しい犬ゾリ訓練と日々の世話で強固な信頼関係を築いた15頭の犬たちを鎖に繋ぎ心ならずも無人の昭和基地に置き去りにした自分を責めた。北村氏は、15頭の犬たちの遺体を識別確認できるのは自分しかないと考え、できるだけ早く南極に戻って犬

たちを弔うと心に秘めて、1959年からの第三次越冬隊に志願して、感動的なタロとジロとの再会を果たしたのだった。そしてオーロラ観測研究の任務の傍ら、犬たちを鎖で繋いだ場所の氷を掘って、残り13頭の遺骸確認の辛い作業を続けて2ヶ月余、7頭の遺体を発掘識別し、6頭が繋留を脱して安否不明と確認し、7頭の遺体を1頭ずつ哀惜の心を込めて丁寧に水葬した。

このときは、2頭の奇跡的生存の驚喜で、奇跡の生還の謎と残り6頭の安否の究明は放置された。しかし、北村氏が7頭を水葬してから9年後の1968年、昭和基地近くで1頭のカラフト犬の遺体が発見されて、実はタロジロの奇跡の生存の時にもう1頭の犬が昭和基地で生存していたことが分かった。当時この情報は何か公表されず、北村氏がこの情報を知ったのは1982年であった。もう1頭の犬の正体は？タロジロとこの犬は何故生存できたか？この時の北村氏の疑問は、2018年2月になって嘉悦洋氏が北村氏に聞き取りを始めて、漸く解明に向かった。

この本は、北村氏の証言の記録と公的資料を基に、第一次南極観測隊出発準備での犬ゾリ隊の選抜育成の過程、南極越冬での犬ゾリ隊の訓練と犬ゾリ探査等の記述を通して、個々の犬たちの性格や特徴、食餌等を明らかにして、謎の解明に向けて推論を積み上げていきます。読み進めていくとカラフト犬に対する北村氏の深い愛情とカラフト犬たちの生き様に感動します。

附属図書館を再開館いたします

京都教育大学附属図書館は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月21日より当面の間休館いたしておりましたが、6月2日より一部利用制限を設けつつ再開館いたします。利用にあたっての制限や注意事項・お願いに十分ご留意いただき、ご利用ください。

館内施設の利用を休止します

○研修・セミナー室1～3
○グループ学習室
○ラーニング・コモンスやグローバルスクエア等での会話を含むグループ学習は当面の間ご遠慮ください。

図書館の利用に際しては、次の点にご留意ください

○発熱、咳などの症状のある方、体調の悪い方は入館をご遠慮ください。
○入館の際は、アルコール消毒や手洗い、咳エチケット等、感染防止対策をお願いします。
○館内では、他の利用者と十分に距離（2m程度）をおいて着席してください。
譲り合ってご利用いただき、不要不急の長時間の滞在はご遠慮ください。
今後、変更が生じた場合は、附属図書館ホームページ等にてお知らせします。
ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

郵送貸出を実施しました

臨時休館中、学習・研究支援策として、郵送貸出を実施しました。50件以上ご依頼いただき、郵送いたしました（5月31日終了）。返却期限日は開館後の日付になります。開館後にカウンターで返却するか、休館中は返却ポストをご利用ください。



家からでも読めます！電子書籍のご案内

休館中でも自宅学習や研究に役立つ電子書籍サービスについてご案内いたしますので、ぜひこの機会にご活用ください！

案内ページ：

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/information/2020/covid-19-e-book.html>

1. KinoDen のトライアルを始めました！

紀伊國屋書店が提供する電子書籍サービス「KinoDen」を6月30日(火)までトライアル利用できます。

本学専用 URL：

<https://kinoden.kinokuniya.co.jp/lib1.kyokyo-u/>

KinoDen には以下のような機能があります。

◎すべて試し読みできます

◎リクエストすれば全文を読めます（翌平日の AM11 時以降）

◎学外からもアクセスできます

◎アカウントを登録すると My 本棚機能が使えます

◎アプリでは My 本棚に登録した電子書籍にしおりやマーカーをつけられます

※詳細は附属図書館の案内ページをご覧ください。

2. Maruzen eBook Library にて約 130 社が 50 アクセスに拡大中！

丸善雄松堂が提供する電子書籍サービス「Maruzen eBook Library」のうち、約 130 社の出版社の電子書籍が、購入済のものに限り、7月31日(金)まで同時アクセス数 50 名に拡大中です。授業の事前課題などにもご活用ください。学外からも利用可能です。

購入済タイトルとアクセス数の一覧や利用方法などは図書館ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

URL：<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/e-journal/ebook.html>

3. EBSCO eBook も利用できます

購入済タイトル数は少ないですが、EBSCO eBook も学外から利用できます。

EBSCOhost の検索画面を通じて、検索・閲覧が可能です。詳しくは以下をご覧ください。

URL：<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/guide/Shibboleth.html>

4. その他データベースもご活用ください

5月号のご案内のとおり、一部データベースのアクセス拡大や無料開放なども行われていますのでこちらもどうぞ。

特にジャパンレージ Lib では『東洋文庫』『文庫クセジュ』『新編日本古典文学全集』などの図書も読むことができます。

URL：

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/information/2020/covid-19-e-resource.html>

京都教育大学
それはかなう夢講座

「先生になりたい - それはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。特に、小学校の先生になりたいと思っている学生の皆さんのご参加をお待ちしています。

第21回のお知らせ



【日時・場所】未定です。YouTube 配信の可能性が
あります。詳細は後日一斉メールにて案内し
ます。

【講師】鈴木 祥子（理学科 准教授）

【テーマ】触媒ははたらきもの

<概要>触媒とは、「反応の前と後でそれ自身は変化せず、反応速度を変えるはたらきをする物質」とであると教科書などには書かれております。皆さんが“触媒”としてよく連想されるものは、過酸化水素の分解反応に用いられる二酸化マンガ
ンではないでしょうか。このような触媒は非常に多様で多数
のものが存在しており、生活に必要な物質の合成において大
変重要な役割を果たしています。その触媒のいくつかについ
て、どのようなものがあるか、また反応の中でどのようなは
たらき方をするのかを、有機合成化学の分野から紹介します。

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のための
カリキュラム開発」プロジェクト委員会
後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

リクエストと投票で
話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています！リクエストや投票にどんどん参加してください！

6月の投票期間は
6月2日（火）～6月17日（水）

※結果によっては購入できないこともあります。
※学習研究目的のものは原則として購入しています。

学修相談カウンター

理数系の院生がいろいろな質問に
対応してくれます。勉強や就職の
こと、先輩に相談してみませんか？



今年度も予定しています！

講習会について

図書館ツアー

レポート・論文資料収集法講習会
データベース検索入門

資料収集に新聞や辞書、百科事典、電子書籍などを使う人はぜひお越しください。

Web上で検索できる図書館で契約しているデータベースの利用方法をレクチャーします！

【日時】6月中の12:05-12:30

【集合場所】附属図書館カウンター

【申込方法】希望日時、所属、氏名を明記の上
library@kyokyo-u.ac.jp まで

詳細は、ホームページやポスターで！社会人大学院生の皆様など異なる時間帯でご希望の方はご相談ください。

児童書コーナー（南館1階）



学生による絵本のよみきかせ
<前期は、おやすみです>



今月の絵本カード
（学生作）

『ぼくのだ！わたしのよ！』

作：レオ・レオニ

訳：谷川 俊太郎

出版社：好学社

※児童書コーナーに展示しています。他にも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品（6・7月）

「貝化石」

展示場所：図書館



教育資料館 まなびの森ミュージアム
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

今回の執筆者 **藤岡 秀樹** (教育学科 教授)

小規模教育再考 - 複式学級の指導と小規模特認校に焦点を当てて -

藤岡 秀樹

京都教育大学紀要 2020, No. 136, pp. 81-91.

私は、この10年間あまり、複式学級の指導や小規模教育・へき地教育に関心をもち、研究を進めてきました。初任の岩手大学教育学部では、附属小学校に複式学級が設置されていたことや、県内の小規模校に出向いて、生活科の研究も行ったことも関係があります。「小規模校や複式学級では切磋琢磨ができず、学力が低い」というエビデンスに基づかない言説が、残念ながら一部の教育委員会で流布され、「学校統廃合」が進められてきましたが、これらについて疑問をもつようになったのも、研究の動機の1つです。

本論考では、最初に小規模小学校で学んだ2人の中学生の感想と複式学級を担任する30歳代教員の感想を紹介しました。次に、「小規模校や複式学級では学力が低い」という言説の反証として、岩手県教育委員会の学力調査結果と北海道の鶴居村の学力調査結果を提示しました。前者では、小学5年生の県学力調査(算・国・理・社)で、2年間連続して複式学級の児童の学力が全県平均よりも高いことを紹介しました。複式学級設置校と非設置校とを比較すると、より差が大きいことが窺われます。後者では、文部科学省の全国学力・学習状況調査で好成績を示している道東の鶴居村の調査結果を紹介しました。鶴居村の学校(小学校3校[うち2校は複式学級設置校]、中学校2校)は、全てへき地指定を受けていますが、全国平均の正答率を100とすると、鶴居村は110~130という高い正答率でした。教育の特色について村教委に問い合わせたところ、教育長から丁寧な回答を頂きました。小規模校であることが高い教育効果を上げていることが示されました。

そして、近畿の小規模特認校(学区制を廃止・緩和し、入学者を増加させる制度)として、滋賀県の大津市立葛川小・中学校と近江八幡市立沖島小学校の取組を紹介しました。前者は小・中併置校で、特認校制度を導入し、入学者増で複式解消につながりました。また、京都市左京区の久多地区は学校統廃合で学校が消滅したため、県境を越えて久多地区の児童・生徒を受け入れています。後者は、琵琶湖に浮かぶ島の学校で、島外の児童が多数であり、郷土学習の教材開発に取り組んだり、同じくへき地指定校の高島市立西朽木小学校(へき地3級)との交流も年2回行われています。

本論考では、小規模校の「よさ」を検討しました。併せて、教職大学院や教育学部で「小規模教育」「複式学級の指導」の開講の必要性についても触れました。私は2019年度、小規模特認校である西別院小学校(亀岡市)、普賢寺小学校(京田辺市)、六甲山小学校(神戸市)を訪問調査し、「小規模校支援」の授業やへき地教育実習を行っている和歌山大学教職大学院も訪問調査しました。別の機会に論考としてまとめたいと考えています。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 136号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2020年6月							2020年7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
28	29	30					26	27	28	29	30	31	

6/1 創立記念日 7/1 館内整理日

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版 OPAC

(QRコード)

<https://tosh2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>



京教図書館 News No.237 (2020年6月号)

発行日:2020年6月1日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp



国立大学法人
京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION